

4 年	単元名	自分の考えをつたえるには ～ たいせつな水 ～	4 時間
単元の目標	○自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を書くことができる。 ○書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 ○書いたものを読み返し、句読点や段落などに気をつけて書くことができる。		
日本語の目標	① 「～なら～と思います。」の文型を使って、自分の考えの中心を伝えることができる。 ② 「その理由は～からです。」「なぜならば～からです」を使って自分の考えを説明することができる。		
学習課題	自分の考えがはっきりと伝わるように組み立てを考えて書こう。		
主な学習活動	身近な水問題・世界の水問題について話し合う。 水を大切にするための自分の考えを決める。 理由や事例、組み立てを考えて意見文を書く。 友達の意見文を読み、よいところを話し合う。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	学習課題をつかむ	めあて 水を大切にするためにわたしたちができることを話し合おう	・社会科の学習「水はどこから」と関連させて、どのようなことが問題になっているか振り返る。 ・現地で学習したことやニュース等から理由や事例を探してもよいことを伝える。 ・「～なら～と思います。」「理由は～からです」等の文カードを活用して、自分の考えを伝えられるようにする。
2	学習計画を立てる カードに書く	<ul style="list-style-type: none"> 身近な水問題・世界の水問題を振り返り、自分たちにできることを話し合う。 自分の考えの中心を決める。 ペア・グループで自分の考えを伝えあう。 意見文を書くための学習計画を立てワークシートに書く。 理由カード（黄色）と事例カード（青色）の書き方を知る。 理由カードと事例カードの例を参考にして、考えたことや経験したことを各カードに書く。 	
	家庭学習課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習課題の内容を確認 理由カード・事例カードを見直したり書き足したりする。 	
3	組み立てを考える 意見文を書く	めあて 自分の考えがはっきり伝わるように、意見文を書こう	・段落相互の関係を視覚的につかめるように、デジタル教科書やプロジェクターを活用する。 ・文章にするのが苦手な児童には、つなぎ言葉を記したワークシートを活用する。
4	意見文を読み合う 学習を振り返る	めあて 友達や自分の意見文のいいところを見つけよう	
		<ul style="list-style-type: none"> 互いの意見文を読み合う。 「びっくりしたで賞」「役に立つで賞」「グッドアイデアで賞」などのカードを各意見文の封筒に入れる。 自分や友達の意見文の内容や組み立てでよかったところを話し合う。 	・意見文はテーマごとに教室の各コーナーに掲示する。意見文の横にはカードを入れるための封筒も付けておく。
<バリエーション> 事前準備 : 単元に入る前に学級通信等で取り上げたい話題を募集しておく。 「つかむ」・「書く」段階 : 取り上げたい話題や理由・事例・意見文を、タブレットで表現する。 「発表する」段階 : 他のクラスと合同で発表会を行う。ガイドブックにする。 ICT を活用し協力校の友だちに向けて発信する。 クラスの代表を決めて意見文をウェブサイトに掲載する。			
<リンク> NHKforSchool			